

記入見本 本大学創立130周年記念奨学生（第3種）第2期 給付申請書

※ 記入していただいた情報は、奨学金業務のための適正な範囲内で使用し、その他の目的には使用いたしません。
 ※ 申請書は2ページです。太線の枠内の項目を過不足なく記入してください。
 ※ 印刷する際は、**両面印刷**をしてください。

フリガナ	ニチゲイ タロウ		昭和・平成 <input type="radio"/> 12 年 8 月 1 日 生	
氏名	日 芸 太 郎		男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	(満 20 歳)
研究科・学部・短期大学部・専門学校名	芸術学部		学科・専攻	○○学科
	学年	○	学生番号 ××××××××	
本人現住所	〒 156 - 8550 東京都世田谷区桜上		自宅外通学者だが、コロナ禍のため、実家に帰省している学生の場合、賃貸契約を継続していれば自宅外の住所を記入する。賃貸契約をしていなければ実家を記入する。 父母がいない場合は、事由を記入してください。 離婚の場合は「離別」 死亡の場合は「死別」 未婚の場合は「未婚」となります。	
保証人住所	〒 053 - 0000 北海道○○市××4-8-32			
(主たる家計支持者に○)	続柄	氏名	年齢	
	父	(離別)		()
	<input checked="" type="radio"/> 母	日 大 華 子	48	会社員 ((株)レイワ)
	主たる家計支持者 (収入が多い方1名のみ) に○印をつけてください。()			
(就学(本人を除く))	続柄	氏名	年齢	在学学校名
	兄	日 大 未 来	22	日本大学文理学部
公的支援を受けた方は、選考時に考慮いたします。 <input checked="" type="checkbox"/> をして、必要書類を同封してください。				
該当する場合は、チェック欄にチェックをしてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 「公的支援の受給証明書」(国等が新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があった者を対象として実施する書類)を提出した者				

公的支援を受けた方は、選考時に考慮いたします。
 をして、必要書類を同封してください。

兄弟等が多く、行が足りない場合は2行書きにしてください。

【 学費支弁者(父母)がどのような影響を受けたかどうかがわかる内容としてください。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年から収入が減少した
 ※家計支持者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けた
 内容が具体的ではなかったり、ただ単に「家計が厳しいため」といった内容では、応募できません。

私が○○歳の時に両親が離婚し、それ以来、母親の収入で兄と私の学費を工面していきました。
 しかしながら、母親の収入だけでは足りず、日本学生支援機構の第○種奨学金を利用し、月々○○万円を借入している状況です。そういった中、新型コロナウイルス感染症の影響により、母親の会社が大きく影響を受け、昨年度より約○○万円程度収入が減る予定です。
 以上のことから本奨学金の給付を希望いたします。

【 学生本人のアルバイトについて、どの程度収入が影響を受けているかを記載してください。
 ※学生本人が新型コロナウイルスの影響を受けた場合
 ※アルバイトをしていなくても、家計支持者が影響を受けた場合は、「なし」と記載してください。

学費は母親が工面していますが、生活費は私のアルバイト代で賄っていました。以前は、月○○万円程度の収入がありましたが、新型コロナウイルスの影響により、2月から5月までは、ほとんどアルバイトに入れなかった状況でした。6月以降は、少しずつアルバイト収入が増えてきましたが、まだ以前の収入には満たない状況です。新型コロナウイルス感染症の再拡大の状況によっては、今後収入が無くなることもありえる状況です。